



バラアーチ

ES-70

組み立て前に

部品表で部品がそろっていることを確認し、「組み立て・接着のご注意」「使用上のご注意」を必ずお読みください。

作業場所について

- 平らな所で行なってください。ねじれ・傾きの原因となります。
- 組み立てに接着液を使用しますので、換気には十分注意し、火気のない所で行なってください。

間口 奥行 高さ
サイズ 123×47×227cm



組み立て・接着のご注意

パイプとジョイントの固定は、イレクター専用のサンアロー接着液を注入して、溶着します。

● **パイプとジョイントは、きれいにしましょう**

接着強度を得るため、ほこり・水・油をふき取ってから連結してください。

● **パイプとジョイントは、しっかり連結しましょう**

寸法どおり組み立てるため、パイプとジョイントはしっかり連結しねじれ・傾きがないことを確認してください。

● **接着後は、はずれません**

接着液は乾燥するとはずれませんので、よく確認してから接着を行なってください。

● **接着液は、ていねいに注入しましょう**

接着強度を得るため、接着液は、接着面に均一に注入し、あふれないように注意してください。接着液があふれた場合は、他との接触に注意し、接着液はふき取らずに自然乾燥させてください。

● **注入直後は、動かさないようにしましょう**

接着液は速乾性ですが、注入直後はパイプが抜けたり、全体がねじれる場合がありますので、15分は動かさないでください。完成後は、接着強度を得るため、24時間おいてから使用してください。

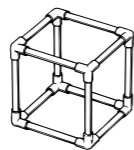
● **接着忘れのないようにしましょう**

完成品の強度に影響しますので、接着忘れがないように注意してください。

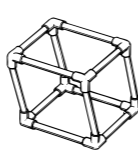
● **スポイト半分の量で、約12箇所接着できます**

スポイト半分の量で8ml。1箇所当たりの接着液量は、ジョイントの種類によって多少異なりますが、約0.7mlを目安にしてください。

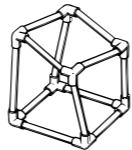
○ 水平・垂直



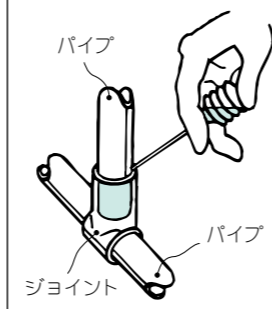
× 傾き



× ねじれ



通常は、上から注入します。



組み立て・接着のご注意 を読んだら **組立開始!**

組み立て

次の順に行なってください。



■ 部品の確認

部 品 表			
部品名	数量	部品名	数量
① 脚部パイプ	4	④ 曲げパイプB	2
② 連結パイプ	11	⑤ 接着液 (30ml)	1
③ 曲げパイプA (J-118B付)	2	⑥ スポイト	1

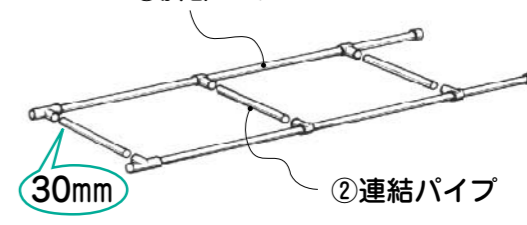
30mm

このマークは、パイプとジョイントのはめ合い寸法を表わします。あらかじめパイプに、ペンでマーキングをしておくと便利です。

1 脚部の組み立て

1. 脚部パイプと連結パイプをつないだものを2組作ります。(図1)
2. ねじれ・傾きがないことを確認して接着します。

(図1) ①脚部パイプ



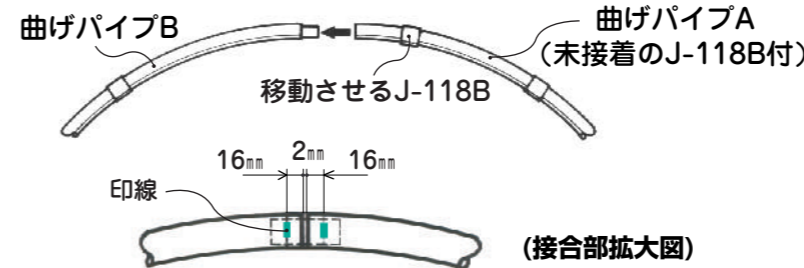
2 アーチ部の組み立て

1. 曲げパイプAを曲げパイプBに差し込みアーチを2組作ります。(図2)
2. 接合部拡大図の様に、中央側のパイプの切り端から16mmのところそれぞれ印線をつけて下さい。※パイプの連結向きは図2参照
3. 次に2で付けた印線にJ-118B (未接着)の両端面が合う様に移動させます。(この時、J-118Bを回転させる様になると移動させ易くなります。)
4. ねじれ・傾き・パイプが奥まで差し込まれているかを確認してから接着します。
5. アーチを1つ寝かせて、連結パイプを差し込みもう1つのアーチを上からかぶせます。(図3)
6. ねじれ・傾きがないことを確認してから接着します。

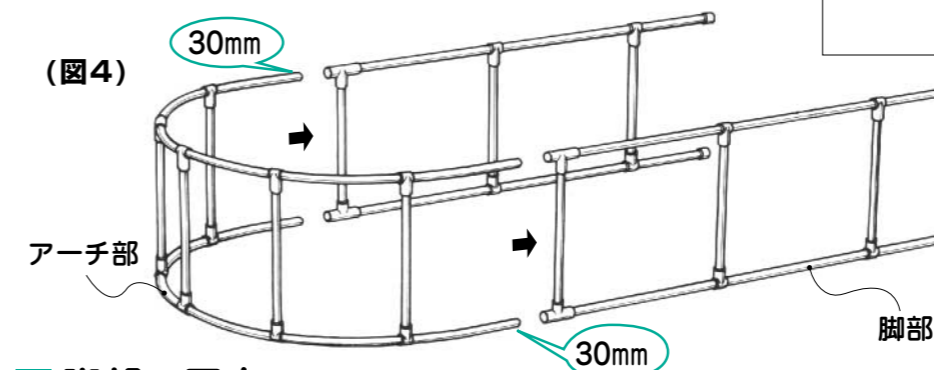
(図2)



※パイプの連結向き
曲げパイプAとBは、それぞれ曲げ部分と直線部分があります。曲げパイプAとBの連結は、図のように曲げ部分側の端面同士を連結してください。直線部分は、脚部に連結されますので注意してください。



3 アーチ部と脚部の組み立て



左図のようにアーチ部に脚部をそれぞれはめ込み、ねじれ・傾きがないことを確認してから接着します。(図4)

4 脚部の固定

使用する際は、脚部パイプを地中に20cm埋め込んでください。その時、脚部パイプの間口は外寸で123cmにします。

⚠ 使用上のご注意

・本製品は、ぶら下がったりハシゴとして使用しますと破損し、ケガをする恐れがありますので、アーチ以外には使用しないでください。

◎万一、不良品等の不具合点がございましたら、お買い求めの販売店または、右記までご相談ください。